令和５年度　　校内研究会について

　　　　　　山梨市立山梨北中学校

**１　学校課題**

　「GIGAスクール構想」に基づき本校においても各教科・領域で日常の授業での効果的なＩＣＴの活用方法について考察と実践を進めてきた。しかし，「個別最適な学び」の部分に対しては，本年度の課題としてさらに研究と実践を重ねる必要性が明らかになった。生徒が進む未来は,変化の激しい社会であり,正解のない問いに対して自ら考え判断していくことが求められる。これには生きる力が重要であり,生きる力の育成に向けて,教師による授業改善と生徒が自ら基礎学習の定着,思考力,表現力を高めていくための気づきと学びについて継続的に取り組んでいく必要がある。

**２　研究主題**

自ら学ぶ力をつける学習指導に関する研究

～個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICT活用の在り方～

**３　主題設定の理由**

　2021年に全面実施された中学校学習指導要領（平成29年告示）において，生徒に身につけさせたい資質・能力が「知識及び技能」「思考力，判断力，表現力等」「学びに向かう力，人間性等」の３つの柱に再整理された。それぞれの資質・能力の育成のためには，さらなる学びの質の向上に向けて「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を推進していく必要があることが述べられている（文部科学省，2018）。本校では，平成29年度より３年間，「自ら学ぶ力をつける学習指導に関する研究～主体的・対話的で深い学びによる授業改善～」と研究主題を設定し，継続研究に取り組んだ。その中で，①「思考・判断・表現力を高める取組（山北スタイルづくり）」　②「基礎学力定着の取組」

　③「教材教具の開発・工夫とICT活用」といった３つの観点から主題に迫るべく研究を進めてきた。文部科学省から「Society 5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するためには，学校現場におけるICTの積極的な活用が不可欠」であることが示され，「GIGAスクール構想」において１人１台端末が整備され，積極的な活用が求められている。また本市においても，令和３年度（2021年）にタブレットが１人に１台貸与されている。本校は，これまでに蓄積された教育実践を通して，「話し合いの手順や方法，発表のルールの確立」，「生徒が思考するときの視点や方向性のもとになる「問い」づくり」，「まとめと振り返りでの工夫」に取り組み，確実に成果を上げてきた。令和元年度から３年度には山梨県道徳教育推進事業の指定を受け「特別の教科　道徳」の研究に取り組み，「発問の工夫」「振り返りシートを活用した評価文」について議論を重ねた。そして，授業の中で生徒一人ひとりの考えが可視化されることにより，他者の考えから多くの気付きを得て，自己の考えを深めることができるようにICTを活用した授業づくりが活発になった。様々な工夫を取り入れ，３年間に及ぶ研究を継続して行う中で，生徒たちが「答えが一つではない道徳的な課題」に向き合い，自己の在り方を問いなおす指導方法を検討することができた。

　そこでAI（人工知能）が発展し，生徒一人ひとりを取り巻く環境も価値観も多様化している現状を鑑み，多様な子供たちに個別最適化の学びの環境を整えていく必要性があると考える。このような時代背景とともに，本校においてもICT活用のニーズが高まったことにより，ICTを効果的に取り入れた「主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善」を通して資質・能力の育成を目指していきたいと考え，主題を設定した。

**４　今年度の研究内容**

(1)　自ら学ぶ力をつける取組（思考・判断・表現力等を高める取組）

(2)　基礎学力定着の取組

ア　学力を向上させるための学習ノートの活用

　　イ　朝読書→読書活動の定着

　　ウ　山北サポートタイム，自学の時間等　→　基礎基本の定着，年間5回実施

(3)　教材教具の開発・工夫と１人１台タブレットの活用

　リーディングＤＸスクール事業をもとに，以下の取り組みを進める。

　　・主体的・対話的で深い学びに向けたICT活用の在り方に関わる事例研究

　　・各教科における，個別最適な学びに関する教材研究

　　・各教科の実践事例の共有化（研究授業・１人１実践）

　　・1人1台タブレット活用に向けた全校統一の取り組みに関する研究

(4)　その他の取り組み

　・「特別の教科　道徳」について，道徳推進教師を中心に研究を深める。

　・ＱＵアンケートを活用した，集団作りに関する研究。

　・特別支援教育の進め方について，特別支援コーディネーターを中心に研究を深める。

**５　研究計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 月　日 | 内　容 |
| １ | 4月5日 | 令和５年度の研究主題,内容の確認 |
| ２ | 4月19日 | ・研究計画について　　　・今年度の評価について  ・特別支援教育学習会ガイダンス（碓井先生による）  ・各学年の授業者の決定 |
| ３ | 5月15日 | リーディングＤＸアドバイザーによる学習会（ガイダンス） |
| ４ | ５月24日 | 特別支援教育学習会①・ＥＣＨＯＥＳ学習について |
| ５ | ６月21日 | リーディングＤＸアドバイザーによる学習会  　（個別最適な学びと共同的な学びの一体的な充実） |
| ６ | ７月 5日 | リーディングＤＸアドバイザーによる学習会  （端末の持ち帰りによる家庭学習の充実、校務の効率化や対話的・共同的な職員会議・教員研修について） |
| ７ | 8月24日 | 特別支援教育学習会②・ＥＣＨＯＥＳ学習について |
| ８ | 9月27日 | 特別支援教育学習会③・ＥＣＨＯＥＳ学習について  リーディングＤＸに関わる授業案検討（各学年） |
| ９ | 10月11日 | リーディングＤＸに関わる授業実践 |
| １０ | 10月18日 | リーディングＤＸに関わる授業実践 |
| １１ | 11月15日 | リーディングＤＸに関わる授業実践 |
| １２ | 11月29日 | ・リーディングDX授業実践の総括  ・ＥＣＨＯＥＳ学習について・特別支援教育学習会④ |
| １３ | 1月17日 | ・特別支援教育学習会⑤・成果と課題について（今年度の研究の振り返り）  ・研究紀要の作成について |
| １４ | 2月7日 | 研究のまとめ |
| １５ | 3月13日 | 研究の反省と来年度の研究の方向性 |